

令和8年度 日置市教育委員会定例会(4月)

○日 時：令和8年4月20日(月) 午後2時00分～午後3時00分

○場 所：日置市中央公民館 研修2・3(3階)

○出席者：奥教育長

委 員：中島委員・内村委員・鶴木委員・中川委員

事務局：上村(事務局長)・有馬(教育総務課長)

段原(学校教育課長)・入佐(社会教育課長)

内田(東市来支所教育振興課長)・坂上(日吉支所教育振興課長)

大迫(吹上支所教育振興課長)・宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会4月の定例会を開会します。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回3月の議事録の承認をお願いします。変更や修正等はありませんか。

(特になし)

よろしかったでしょうか。

(異議なし)

それでは、3月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、内村委員と鶴木委員にお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員、お願いいたします。

中島委員： 報告させていただきます。

3月24日に、妙円寺小学校第42回卒業式に出席いたしました。

卒業生は83人で、卒業証書授与では、卒業生全員が壇上に上がる前に来賓席・学校職員席に一礼して、卒業証書を授与されたあとも壇上を降りた際に一礼をしていました。最初と最後の児童生

徒が一礼をするのはよく目にしますが、妙円寺小学校では全児童が凜とした態度で礼をして、授与される姿に感銘を受けました。

有村校長の学校長式辞では「新型コロナウイルスによる一斉休校や分散登校、当たり前の日々が当たり前でない特別な学校生活の中で、たくましく成長し、運動会や修学旅行で見せてくれた笑顔がとても心強く、協力し合う姿が学校全体に明るい希望の光を灯してくれた。不自由を経験したからこそ、クラス皆で何かを作り上げる喜びの尊さを深く知ったはずです。これから進む中学校でもその気持ちを大切にしてほしい」と語られ、最後に卒業式や合唱コンクールでよく歌われる日本のロックバンド、RADWIMPSの「正解」の歌詞の一節を話されました。

「次の空欄に当てはまる言葉を書き入れなさい。ここでの最後の問い。『君のいない明日からの日々を僕は/私はきっと□□□□□』。制限時間はあなたのこれからの人生。解答用紙はあなたのこれからの人生。答え合わせの時に私はもういない。だから採点基準はあなたのこれからの人生。よーい、はじめ」と伝えられました。

この曲が卒業生退場の際に流れ、新たに中学校生活へ向かう卒業生に「自分らしさを忘れず、可能性を信じて羽ばたいてほしい」と私自身もエールを送りました。

3月28日の令和7年度日置市管理職等送別会、4月4日令和8年度日置市管理職等歓迎会に出席いたしました。

4月9日は、午前の部で令和8年度東市来中学校第80回入学式に出席いたしました。

入学生は80人で、吹奏楽部の演奏で入場し、開式の言葉、新入生紹介の後、肥後校長の学校長式辞では「校訓、『学』学ぶことに邁進し、『道』相手を思いやり規律をしっかりと守る道徳心を忘れず、『錬』日々努力し夢に向かって歩み続ける東中生、失敗を恐れず新しいことに挑戦し、自分で考える行動力を身につけ、異なる個性をもつ仲間や先生を尊重し、共に高め合う生徒になってほしい」と話されました。

新入生誓いの言葉では、小倉さんが「新しい制服を着るのは照れ臭い思いもあります。小学校のクラスメートともクラスが分かれていましたが、新たな気持ちで共に頑張っていきたい」と述べられ

ました。中学校3年間のスタートを頑張っしてほしいと思ったところ
です。

同日午後からは、飯牟礼小学校第80回入学式に出席しました。
新入生13人、その内女子は2人でした。新しい制服で入場し、式
が始まりました。新1年生の紹介では、体育館に響きわたる元気
な返事ができていました。

友生学校長式辞では「明るく元気で、友達をたくさん作って
ください。誰よりも優しく、決まりを守り、楽しい学校生活を共に
過ごしましょう」と話されました。

保護者代表のあいさつでは、途中で胸が熱くなり言葉を詰まら
せる場面も見受けられました。

話は違いますが、先日痛ましい事件もありました。親子の問題
で悲しい事件・事故が起こらないように、そのお母さんも胸の詰
まる思いで、感極まったのだろうと感じました。

4月17日は、令和8年度日置市転入教職員の宣誓式があり、61
人の新たな先生方が転入されました。詳細については他の委員か
ら報告いただければと思います。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。鶴木委員、お願いいたします。

鶴木委員： それでは、報告させていただきます。

3月24日に、花田小学校の第79回卒業式に出席して、教育委員
会の告辞をさせていただきました。花田小学校の歴史の中で、こ
れまで二千人を超える卒業生が巣立っていますが、今年度の卒業
生は4人でした。初めに卒業証書が竹平校長から一人一人に授与
されました。

式辞で校長が「良き伝統を受け継ぎ、児童会や各種委員会で頑
張っている姿が目につかぶ。これから辛いことや苦しいことがあ
るかもしれないが、自分を信じて未来へ向かって進み、夢を叶え
てほしい」と述べられました。

祝辞では、商工観光課の上村課長が「皆さんはコロナ感染の年
に1年生として入学した。当たり前の日常が当たり前ではなくな
り、マスクごしの会話が続いたが、多くの友達と勉強や運動に取
り組み、大きく成長した。感謝の気持ちを忘れず、立派な中学生
になってほしい」と述べられました。

P T A会長は一人一人を呼名して「やまない雨はない。雨の後

には虹もでる。花田小で学んだことを生かして頑張ってもらいたい」と述べられました。

記念品贈呈では卒業生から学校へ図書や文房具の贈呈があり、続いて卒業生が壇上に上がり別れの言葉を述べたのに続き、在校生が呼応して卒業生にお祝いの言葉を述べました。その後、卒業生が降壇して、一人一人が保護者の前に歩み寄り感謝の言葉を述べ、最後は校歌を斉唱して式を締めました。

9日は、小中学校の入学式が挙行されましたので、教育委員会の告辞をさせていただきました。午前中に挙行された伊集院中学校では、138人の新入生が新たに制定されたブレザー型の制服姿で入場し、式に臨みました。

初めに新入生紹介がありました。担任からクラス毎に一人ずつ呼名され、元気な声で返事をした後、クラス全員が回れ右をして「よろしくお願ひします」とお辞儀をする姿がとても印象的でした。

式辞で帖地校長が「真新しい制服の皆さんは凛々しく見える。これからの社会を生きていく上で欠かせない自分の可能性を伸ばし、一つ上を目指してレベルアップしてほしい。今年は創立80年の節目。一人一人の挑戦や努力が歴史になっていくので、学業、部活、学校行事などで力を発揮してほしい」と述べられました。

祝辞に立たれた市長は「一人一人の元気な返事と『よろしくお願ひします』の声に元気をもらった。楽しいという気持ちは後からやってくるので、何事にも挑戦してみよう。その過程で楽しさが分かってくる。真剣に取り組む中で、楽しさや喜びを味わってほしい」と述べられました。

P T A会長はモハメドアリの「想像力のない者に望みはない」という言葉を引用され、「このような自分になりたい、あんなことに挑戦したいという想像力をもって、失敗を恐れず挑戦してほしい。地域・学校・P T Aが手を取り合って安心して失敗できる環境を作っていく」と励まされました。

3年生の川野さんが「制服がブレザーに替わった。中学校では授業の形態が異なり、部活動も始まる。楽しい学校行事と一緒に取り組み、充実した学校生活を送っていこう。創立80年の節目に当たるので、伝統を受け継ぎ、より発展させていこう」と歓迎の

言葉を述べました。

新入生代表宣誓では、栄楽さんが「中学生として自ら考え行動する力を身に付けたい。伝統を大切にしながら一歩一歩成長していきたい。中学校で出会う『初めて』は不安でもあるが、不安を解消していくので指導をよろしくお願いします」と述べ、「伊集院中学校の生徒として誇りをもって生活する」と結びました。

午後は伊集院小学校へ行きました。

式辞で久留校長が「小学校で楽しく過ごすことができるよう二つの願いがある。友達や先生と協力して最後まで頑張り抜いてほしい。もう一つは、チャレンジすることが多いけれども、諦めないで最後までやり抜く1年生であってほしい」と願いをされた後、「交通安全や学校の決まり、家での約束を守って安全に生活しよう」と結ばれました。

私も告辞の後に保護者の方々へ「時間を見つけて通学路を子供と一緒に歩いて、交通ルールを教えたり、危険な場所を確認したりしてほしい」と付け加えました。

市長祝辞では「小学校には給食や優しいお兄さんやお姉さん、きれいな花など、わくわくするような宝物がたくさんあるので、宝物をいっぱい探してほしい」と述べられました。

P T A会長は「楽しい学校生活をお兄さんやお姉さん達と一緒に送ってほしい」と希望を述べられました。

歓迎の言葉を述べた6年生の三宅さんは「楽しい学校行事があるので、楽しみにしていてほしい。分からないことはなんでも聞いてほしい」と1年生に安心感を与えるように語りました。

最後は、児童の安全を守るために、伊集院警察署の方が交通事故防止や不審者対策など、気を付けなければならないことについて話をされました。

なお、3月28日の管理職等合同送別会、4月4日の合同歓迎会及び17日の転入教職員宣誓式は中川委員が述べられましたので、割愛いたします。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。中川委員、お願いいたします。

中川委員： 報告いたします。

今年度より、4月8日が始業式、4月9日が入学式となりました。小学4年生の娘は、担任が新任の先生でした。いつもよりも

先生とのコミュニケーションをとる時間があったようで、帰宅してからは先生のことをたくさん教えてくれました。

報道などからも、先生方が余裕をもって始業式や入学式を迎えられたことが感じられました。今後もこのように、先生方にも子供達にも良い効果が生まれるよう改善等に取り組んでいただけたらと思います。

4月9日は、午前中は和田小学校入学式、午後は吹上中学校入学式に参加いたしました。

和田小学校では、1人の入学生を、児童・教職員他、保護者や地域の皆さんで迎える、とても温かな式でした。1人だけの入学式は緊張したことと思いますが、会場の拍手に迎えられて立派に入場し、大きな声で返事ができておりました。

入学式が始まる前に待機場所となっている校長室では、地域の方々、新入生が生まれた日のことを昨日のことのようには話されながら、子供の成長や入学式を元気に迎えられたことを喜び合っており、小規模校ならではの地域との繋がりを実感いたしました。

吹上中学校では、今年度から新しいデザインの制服となり、移行期間ということで、従来の制服の生徒と新しい制服の生徒が出席しておりました。

吹上中学校は吹上町内の4つの小学校から生徒が集まっており、入場は緊張が感じられましたが、どの生徒も姿勢よく来賓の方々や在校生からの話に耳を傾けていて、これから始まる学校生活への期待が感じられました。

和田小学校・吹上中学校とも、教育委員会として告辞を述べさせていただきました。児童生徒は真っすぐな瞳で真剣に耳を傾けており、一人の大人として子供達が安心できる学びの場をしっかりと作っていかねばならないと改めて責任を感じました。

4月17日は転入教職員宣誓式に参加いたしました。たくさんの先生方にお忙しい中ご出席いただき、来賓の方々からも「勤務時間等もありますので、皆さん無理をせず、子供達に一生懸命ご指導ください」とお話をいただきました。

最後ですが、4月になり、多様な学びの学校として志布志と宮之城に新しい学校が開校されております。学校訪問等をしまし

て、学校になかなかいけない子供達が来ておりましたが、こういった新しい学校ができたことで、先生方もそこから色々なことを学んで、それぞれの学校に還元していただけたらと期待いたします。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

3月24日は、鶴丸小学校の第79回卒業式に出席しました。6年生29人が男女混合で、堂々と胸を張り、体育館に入場しました。さすが開校155年の歴史と伝統が引き継がれてきた風景でした。田平校長先生から卒業証書を受け取る態度・姿勢も凛として、とても素晴らしかったです。

お別れの言葉は、5年生と6年生の対面式で、6年生が6年間の思い出を大きな声で発表しました。一人の6年生の児童が「生まれてきて良かった」と述べたのが、とても印象的でした。

地域の方々も大勢出席されて、地域で児童の成長を見守り育てている様子がよく分かりました。これからの東市来中学校での学校生活が充実したものになるよう願いました。

3月26日は第2回日置市子ども・子育て会議に出席しました。

吉利保育園の閉園と今後について、事務局より説明がありました。吉利保育園で52件の不適切保育があったことを園が認め、マスコミ等で報道されて、園長が閉園を決定しました。閉園後の子供の受け入れ先の確保に動き、4月以降0歳から2歳児は社会福祉法人金剛樹心会が新規に設置する保育園に、3歳から5歳児は同じ地域内の認定明信寺こども園が受け入れる方針で、放課後児童クラブについては、旧吉利保育園施設を使い、現在の児童を受け入れる方針と説明がありました。

3月28日は吉利保育園第78回卒園式・閉園式に出席しました。最後の卒園式の園児は日吉学園4人、伊集院小1人、永吉小1人の合計6人が、4月から各小学校へ入学となりますが、吉利保育園での体験を胸に、大きく羽ばたいてほしいと願いました。閉園式は多くの住民が出席して、78年間の思い出を偲びながら、最後は全園児による太鼓演奏や竹演奏で幕を閉じました。

4月8日は吹上高等学校の入学式に出席しました。今年度の入学生は、電気科15人、電子機械科37人、情報処理科16人の合計68

人でした。

徳丸校長先生から68人全員に入学許可が告げられました。新入生代表が「これから3年間、学校の規律を守り、勉学に励みます」と宣誓しました。徳丸校長先生の式辞では「皆さんが自分の可能性を信じて挑戦し、自分の夢を叶えられるよう3年間努力を続けてください」と話されました。

4月9日は朝9時25分から、伊集院北中学校の第80回入学式に出席しました。新1年生は1組33人、2組32人、3組32人の合計97人でした。2週間前に各小学校を卒業した子供達が、僅かの間に少し成長し、真新しい制服と運動靴で身を包んで、吹奏楽の演奏や在校生・保護者の拍手に導かれ、堂々と入場しました。

宮元校長先生の式辞では、校訓の立志・躍動・友情について話されました。「立志とは粘り強く学び続けること、躍動とは失敗を恐れず挑戦して行動すること、友情とは一人一人がもっている思いやりと仲間を大切にして感謝する心です。これらを育ててください」と述べられました。

在校生歓迎の言葉で、3年生の藤村さんが「新入生の不安が希望や大丈夫という気持ちに変わるように、北中の伝統の膝つき清掃や1分間黙想を体験することで、集中力や達成感を感じるでしょう。3年間はあっという間です。自分が夢中になれることを探して継続してください」と新入生に分かりやすく丁寧に話しました。

4月9日は13時から伊集院北小学校の第70回入学式に出席しました。新1年生は17名で男児10人、女児7人でした。5年生・6年生や保護者・先生・地域の方々の拍手で入場しました。驚いたのは、国歌斉唱で5・6年生が大きな声ではっきり歌う態度でした。新入生が通学時に交通安全に気を付けて、健やかに成長しますようにと願いました。

4月17日の宣誓式は、中島委員、鶴木委員、中川委員が詳しく述べましたので、私からは割愛いたします。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。

それでは私からですが、3月27日に子ども支援センターの送別会に出席いたしました。20年近く教育相談員としてお勤めいただきました田村英孝先生がご退任され、代わりに西哲也先生という

方が勤められます。また、その直後に、こちらも長く勤めていただきました堀之内先生が急にお亡くなりになりました。ベテランのお二人がいなくなり、寂しい思いがいたします。お二人のこれまでのご功績・ご貢献に心から感謝申し上げたいと思います。

4月10日は、今年度からスタートする部活動指導員に、14部活動に15人の方をお願いするということで、辞令交付と説明会・研修会を開催いたしました。

内訳を見ますと、市の職員あるいは他自治体の職員、一般企業の方々等のご協力をいただきます。フラワーゴラッドの津田選手がその後発表いたしました。いずれの方もこれまでのご経験を子供達の部活動で発揮していただきたいと思います。

4月18日に、ジュニアオーケストラの入団式及び総会を開催いたしました。新しく29人が入団し、総勢133人となりました。今年度も充実した活動を誓い合いました。以上です。

4 議事

【報告第1号 日置市教育委員会事務局職員の任命について】

奥教育長： 報告第1号日置市教育委員会事務局職員の任命について説明をお願いいたします。

有馬課長： 1ページでございます。報告第1号日置市教育委員会事務局職員の任命についてご説明いたします。日置市教育委員会事務局職員について、臨時に代理し、別紙のとおり任命したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により報告するものでございます。

2ページの別紙をご覧ください。転出者です。東事務局長兼教育総務課長が産業建設部長として転出、大園学校教育課長補佐が薩摩川内市立平成中学校長として転出、弓場教育総務課教育施設管理係長が国土交通省土地政策課へ転出、谷口東市来学校給食センター事務長が退職となっております。

転入者です。商工観光課から上村事務局長、税務課から有馬教育総務課長、建設課から古垣教育施設管理係長、始良・伊佐教育事務所から前田学校教育課長補佐が転入、永野学校教育課参事が学校教育課参事兼指導係長に、秋丸東市来支所教育振興課長補佐が社会教育課参事(スポーツ振興担当)に異動、税務課から原口東

市来支所教育振興課長補佐、農林水産課から元山東市来学校給食センター事務長が転入となっております。

4月1日から辞令交付に基づき、任命されたものでございます。以上です。

奥教育長：ただ今説明がありました日置市教育委員会事務局職員の任命につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第1号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第1号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第1号 承認】

【報告第2号 日置市教職員住宅管理規程の一部改正について】

奥教育長：報告第2号日置市教職員住宅管理規程の一部改正について説明をお願いいたします。

有馬課長：3ページでございます。報告第2号日置市教職員住宅管理規程の一部改正についてご説明いたします。日置市教職員住宅管理規程について、臨時に代理し、別紙のとおり改正したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により報告するものでございます。

4ページは、日置市教職員住宅管理規程の一部を改正する訓令でございます。

5ページの新旧対照表をご覧ください。土橋小学校校長住宅、土橋中学校教頭住宅、伊集院教職員住宅1、伊集院教職員住宅2を削除するものでございます。今回の改正は教職員の転出に伴い空いた住宅を、市及び教育委員会の方針で公共施設を相対的に縮減していくということで、今回削除するものでございます。当該住宅は財政管財課へ所管を移し、今後売却することになります。以上でございます。

奥教育長：年次的に教職員住宅を廃止する方向で進めております。教職員住宅の無い学校では、民間の住宅を借りていただくか、通勤可能

な所に自宅のある方は自宅から通勤していただいております。

ただ今説明がありました日置市教職員住宅管理規程の一部改正につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第2号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第2号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第2号 承認】

【報告第3号 日置市学校給食費負担軽減事業費補助金交付要綱の制定について】

奥教育長： 報告第3号日置市学校給食費負担軽減事業費補助金交付要綱について説明をお願いいたします。

有馬課長： 資料は36ページでございます。報告第3号日置市学校給食費負担軽減事業費補助金交付要綱の制定についてご説明いたします。日置市学校給食費負担軽減事業費補助金交付要綱を別紙のとおり制定し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により報告するものでございます。

37ページからが日置市学校給食費負担軽減事業費補助金交付要綱でございます。令和8年4月から公立小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の学校給食費の抜本的な負担軽減が全国一律で始まりました。子育て支援を目的として児童の学校給食に必要な食材費について、国が地方自治体を支援する取組でございます。

小学校及び義務教育学校前期課程における完全給食では、児童1人1月当たり5200円、年間では11カ月分が支援されます。この制度は個人に対して学校給食費を給付するものではなく、地方自治体が学校給食のための食材を購入するための経費を支援する仕組となっております。

今回は国・県から支援される交付金を学校給食費会計に受け入れるため、補助金交付要綱を制定するものでございます。なお、

本市の1人当たりの小学校の学校給食費の額は5,200円ですので、5,200円の支援により保護者負担額は0円となります。

37ページをご覧ください。第1条ではこの告示の趣旨を、学校給食費の抜本的な負担軽減を通じた子育て支援を図るため、学校給食費会計に対し、補助金を交付するものとしております。

第2条では、補助金の対象経費を学校給食費とし、補助金の額を5,200円に当該年度の5月1日における児童の数を乗じて得た額に、11を乗じて得た額としております。

第3条以降は、補助金の交付申請、交付決定、変更申請決定、実績報告、額の確定、概算払い及び交付請求の様式等について規定するものでございます。

39ページをご覧ください。附則第1項は施行期日を令和8年4月1日とするものでございます。附則第2項は、日置市学校給食費保護者支援事業費交付金交付要綱の一部を改正するものでございます。

この改正は、ご説明しましたとおり、公立小学校・義務教育学校前期課程の学校給食費の負担軽減制度の開始に伴い、令和6年度から実施しております学校給食費保護者支援事業費交付金の交付対象者から児童を対象外とするものでございます。

また物価高騰の影響により、本市の1月当たりの学校給食費の額が令和8年度は、幼稚園で4,000円から4,700円に、中学校で5,200円から6,100円に改定されたことから、保護者負担額を据え置きとするため、交付金の交付額を変更するものでございます。

49ページの新旧対照表をご覧ください。第1条の趣旨では、「児童」を削り、「幼児及び生徒の保護者に対し交付金を交付する」としております。

第2条の改正は交付対象者を「学校に在籍する幼児、児童及び生徒の保護者」を「幼稚園、中学校及び義務教育学に在籍する幼児及び生徒の保護者」とするものでございます。

第3条第2項第1号の改正は、幼児の保護者への交付金額を1,000円から1,700円とするものです。同項第2号は児童の保護者への交付額を規定するもので、同号を削ることとし、同項第3号の改正は、生徒の保護者への交付金額を1,450円から2,350円として、同項を第2号として繰り上げるものでございます。これによ

り保護者負担額は幼稚園で3,000円、中学校で3,750円と令和7年度から据え置きとなります。以上でございます。

奥教育長： ただ今説明がありました日置市学校給食費負担軽減事業費補助金交付要綱の制定につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

鵜木委員： 40ページ以降に申請書がありますが、これは給食センターが申請するのか、または学校ごとに申請するのでしょうか。

有馬課長： 給食センターが市長に申請して、市長からその額が給食センターに出ます。

鵜木委員： 分かりました。

奥教育長： 他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第3号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第3号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第3号 承認】

【議案第1号 令和7年度日置市教育委員会点検・評価報告書について】

奥教育長： 議案第1号令和7年度日置市教育委員会点検・評価報告書について提案をお願いいたします。

有馬課長： 資料は6ページでございます。議案第1号令和7年度日置市教育委員会点検・評価報告書についてご説明いたします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、日置市教育委員会点検・評価報告書を作成したことから、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第1項第18号の規定により提案いたします。

7ページからが報告書でございます。9ページをご覧ください。市教育委員会では、施策の点検・評価を住民に分かりやすく示すため、日置市教育振興基本計画内の施策を対象として点検・評価を実施しております。これまでの第3期計画が令和6年度で終了し、令和7年度からは令和11年度までの5年間を期間とする第4

期日置市教育振興基本計画がスタートしております。

10ページです。第4期計画では、基本目標を「夢をもちあしたをひらく心豊かな人づくり」、施策の基本方針を「郷土ひおきの資源を生かした『風格ある教育』の推進」と設定いたしました。これに基づき、「魅力ある学校づくり」や「ひおき版郷中教育」など、7つの施策の方向性に沿って具体的な事業を展開しております。第4期計画における具体的施策は、全部で33施策がございます。計画期間の5年間に全ての施策について1回以上の点検・評価を行うこととしております。

11ページです。令和7年度は表に記載のとおり、学力向上や人権教育の推進、文化財の保存・活用など、教育委員会事務局各課が所管する重要施策について点検・評価を実施いたしました。今回の報告書でも、自らが行った自己評価に加え、学識経験者等で構成される外部評価委員会を開催し、第三者の視点による客観的な評価をいただいております。各施策の評価シートでは事業の妥当性・有効性・効率性等の分析及び今後の方向性についてお示ししております。

21ページ以降が、点検・評価シートでございます。

22ページ、23ページをご覧ください。「児童生徒、家庭、地域にとって魅力ある教育活動の工夫改善」でございます。魅力ある教育活動の工夫改善を行うことは、様々な教育課題を解消し、学校が児童生徒にとって安全で安心して学ぶことができる場とするために必要であり、家庭や地域の協力を得ながら取り組んでいく必要があります。

学校運営協議会の機能化による地域に開かれた学校運営の実現と9年間の小中一貫教育の推進により、計画的・系統的・継続的な指導が期待でき、妥当性及び有効性の高い取組であると分析しております。また全ての中学校区で計画的かつ効果的な小中一貫教育研修が実施され、校区の学校が連携した取組の推進が図られるなど、達成度についても目標以上の成果を上げることができたと分析しております。

外部評価委員からは、タブレットなどの情報機器を活用し、更なる充実を図ってほしいとの提言をいただいております。

24ページ、25ページでございます。「児童生徒の体力向上に向け

での取組の充実」です。当該事業は全ての児童生徒が生涯にわたって運動やスポーツに親しむのに必要な素養と健康・安全に生きていく上で必要な身体能力・知識などを身に付ける必要があることから、必要性の高い事業であり、また中学校区で充実した実践研究がなされており、目標以上の成果を上げることができたと分析しております。

今後の方向性は現状維持とし、令和8年度も「チェスト行けひおきっ子事業」の研究協力校区として、令和7年度から引き続き伊集院中学校区を指定しております。外部評価委員から児童生徒の運動をする機会を確保し、体力向上に取り組んでほしいとの意見をいただきました。

26ページ、27ページをご覧ください。「人権教育の推進」です。人権教育は全ての教育の基本であり、自他の大切さを認めることができる子供達を育成する必要があること、また心の通う人間関係を構築する能力の素地を養うことや、男女平等を重んじる態度、実践力などを育成する必要があることなどから、妥当性・有効性の高い事業であると分析しております。

今後の方向性は、講師を招聘した校内研修を全校で年1回以上実施することなどを目標に、現状維持と自己評価しました。外部評価委員からは、SNS上の誹謗中傷など新たな人権問題への取組について要望されております。

28ページ、29ページです。「ふるさと学寮・青少年リーダー研修の充実」です。当該事業は学校教育では得難い多様な集団活動を通じ、時代を担うリーダーを養成するものであり、教育的ニーズに応える極めて必要性の高い取組として、最小限の経費と事務量で十分な成果を得られており、妥当性・有効性の高い事業であると分析しております。また、事業に参加した児童生徒の感想などから、概ね期待していた成果を得られたものと分析しております。

今後も改善すべきところは改善を図りながら、方向性としては現状維持と評価いたしました。外部評価委員からは、国際情勢の変化による旅費の高騰が交流事業に影響しないよう、予算を確保してほしいと意見をいただいております。

30ページ、31ページです。「おひさま運動の推進」です。本事業は市民に浸透してきた事業であり、市民総ぐるみの拠り所となる

運動として、今後も継続して取り組む必要性の高い事業であると分析しており、外部評価委員からも、事業の現状維持で継続が必要であるとの評価をいただいております。

32ページ、33ページです。「文化財の保存・活用」でございます。各地域文化財保存団体等運営支援事業は、市内文化財の調査・保護に努めることが重要であると捉え、貴重な財産として次世代へ継承するため必要性の高い事業であると分析しております。

保存団体等への補助金を交付し、概ね支援ができており、今後においても自主的に文化財を保存・活用するために支援が必要であると考えます。外部評価委員からは、様々な場面で積極的に情報発信を行い、子供達に伝える工夫を行ってほしいとの意見をいただいております。

34ページ、35ページです。「生涯スポーツの推進」でございます。本事業は市民の体力向上や健康の保持・増進の観点から必要性の高い事業であると分析しており、施設利用団体の目標数71団体に対し、令和7年度実績で70団体と概ね目標の成果を上げることができました。

今後は市民ニーズに応じた内容にアップデートするなど、目標達成を図っていきたいと考えます。外部評価委員からも、事業の現状維持で継続が必要であるとの評価をいただいております。以上でございます。

奥教育長： ただ今説明がありました令和7年度日置市教育委員会点検・評価報告書につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

鶴木委員： よろしいでしょうか。

厳しい財政事情の中で、予算を確保して、施策を展開していただいています。一番良いのは、おひさま運動のようにゼロ予算で推進できるのが一番いいですが、できないのが現状なので予算を確保して取り組めますが、予算の執行率を見ました。

生涯スポーツは96.6%、文化財は100%、ふるさと学寮青少年リーダー研修95.9%、人権教育が89.1%、児童生徒の体力向上は5万円の補正が組み込まれていて103.7%です。しかし「児童生徒、家庭、地域にとって魅力のある教育活動の工夫改善」は、1400万円程の予算がありますが、執行率は76.7%です。

不必要なものを買えとは言いませんが、効率的に成果を上げる

ためには、もう少し予算を計画的に執行する必要があるのではないかと感じました。学校に与えられた使命として学力向上がありますので、タブレットなど色々な学習に取り組んでおられますが、少なくとも85%程の執行はされるべきではないかと思います。検討していただきたいと思います。

奥教育長： ありがとうございます。

宮前補佐： 補足して説明させていただきます。

令和7年度の予算につきましては、国の補正予算の影響もございまして、伊作小学校の屋内運動場の長寿命化工事、鶴丸小学校の長寿命化工事等を計画しておりましたが、繰り越しとなり、その分の執行がゼロです。令和8年度5月に、工事に着手する計画です。

また、令和7年度にはセカンドギガの整備がございました。これに関連してタブレットが新たに替わりますので、従前に計画しておりました教師用のコンピューター端末も9月からリース料を執行予定でしたが、スペック等の調整の関係で3月から賃貸借を行っております。その分の賃借料を執行する必要が無くなったことで、金額を今詳細には申し上げられませんが、大きな影響を与えたのではないかと思います。以上です。

奥教育長： 色々な執行の関係で変更になることがあります。本当は使えたのに使えなかった予算も中にはあります。教職員研修の補助などです。もっと活用してほしいものも中にはございますが、そこを含めて適切な執行に努めたいと思います。

鵜木委員： 無駄遣いをしろと言っている訳ではありませんが、立てられた予算はできるだけ執行していただきたいと思います。

奥教育長： そうですね。ありがとうございます。

他にございませんか。

内村委員： 部活動指導員はスポーツ庁が非常に推進していますが、難しい状況の中で、14種目で15人を配置されたということで、短期間でよく探されたと思います。どの学校の何の部活に配置したか教えてください。

奥教育長： 資料の裏面に一覧表があります。今年度から実施されますので、今年度予算の中に計上しております。今後どのように拡充していきけるかが課題になると思います。市の理解をいただいて実施でき、

ありがたいと思います。

内村委員： ありがとうございます。

奥教育長： 他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第1号は、原案のとおり議決とさせていただきます
よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第1号は、原案のとおり議決いたします。

【議案 第1号 議決】

5 その他

(1) 事務局長

(2) 学校教育課長

(3) 社会教育課長

(4) 各支所教育振興課長

ア 東市来支所長教育振興課長事務取扱

イ 日吉支所教育振興課長

ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会4月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員

伊野 辰夫

署名委員

中川 ひとし